

郷土を緑で
つつみましょう

◇緑化運動強調月間◇



昭和37年4月1日 第288号

発行所 和歌山市小松原通1丁目1番地

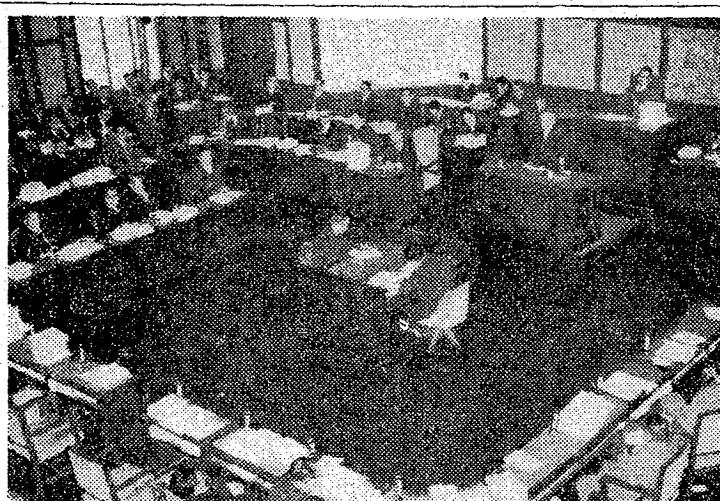
和歌山県

文書広報課長 出水清治

印刷所 和歌山新聞社

昭和29年5月28日日本国有鉄道特別扱承認

雑誌第2816号



新年度予算などを審議する本会議

新年度予算などを審議する本会議

新年度予算を展開

新年度予算をまとめる

県政ならぬ躍進の新年度へ

活発な質問を展開

定例県議会

政府へ意見書

へ土地など五件

教育など

の観光と産業文化の向上に大

きな役割を果たしている。

しかし現状では輸送力が限界

あり、ことしか複数化工

業を強化し、新しく漁港課を

経済部に設けました。

新年度予算をまとめる

年に増築し

した。新年度予算がございました

大臣提出しました。

◇結核予防法による命令所

主旨の意見書を譲り受けた。

関係

制度の適用範囲が狭い、特に

事にも適用できるよう、制度

の拡充と予算の増額を要す

る意見書。

この制度を必要とする低所得

者に適用できるよう、制度

の拡充と予算の増額を要す

新年度の予算などをきめる定

例県議会は、二月二十八日から一ヶ月余にわたり開かれました。

この月に掲載した知事の施策の裏づけとなる予算や条例その他の議案が提出されました。

はじめに知事の説明があり、議案精読期間において、三月十二日から一般質問に入りました。議案を各常任委員会にかけてくわしく審査しその後、本会議で審議のうえ全議案が可決されて閉会しました。

さて、農業の近代化をはじめ、民生、衛生関係(二面参照)など私たちに身近なも

のはもちろん、工業立県への足がかりとして臨海工業地帯

の整備などの新産業都市の建設をすすめるとともに、名産

ます。また激浪対策、道路整備、青

年始の予算は、果樹園芸試験

場の建物が完成し、内装設備

も相当充実しつつあります。

このほか総合体育馆をはじめ

美術館、教育研究所なども設

置されます。

なお、この県議会における

予算編成が、歳入の面で無理

で予定していた財政再建を、ことじで完了する計画では進むとともに、一般会計では昨年当初より五十二億円も多

い予算を計上し、先進県へ飛躍するための積極的な施策を推進することになりました。

なお、この県議会における予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

予算編成が、歳入の面で無理なのはあちこん、工業立県への

新年度予算をまとめる

躍進の新年度へ

の新年度予算をまとめる

企画部を設置

漁港課も新設

先進県への躍進をはかるため

県では、北部・中部臨海工業

地域の造成や、新産業都市の

建設計画などの総合的な問題

や県行政の総合調整を強くお

こしすすめようとしています。

そこで県では、とりあえずさ

る月から今までの企画長、

企画員制度を拡充して企画室

を設け、開発計画、企画調

査、総合調整等の三課と参事制

住民の福祉向上へ

8月1日に合併

市町村

市町

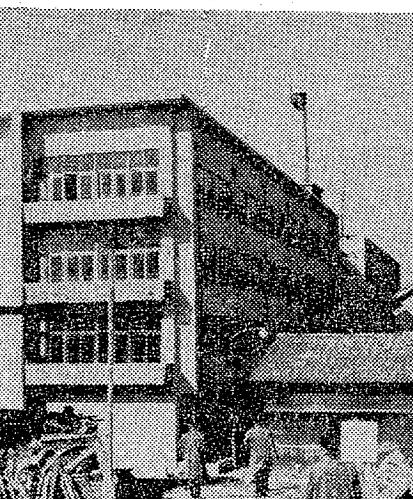
有田市と初島町は、ことしの八月一日に合併することになり、この

月に、この町が一年以内に合併期

になりますが、合併議決もされており、知事が一年以内に合併期

までに合併期を定めることになっていた

のです。



伝統と信用を誇るツルノタキ
オ、二、三、四回全国清酒品評会 優等賞受賞

醸造元 帶庄酒造合資会社 電話(妙寺)2番

気軽く余暇旅行

国民休暇村建設する

これが昭和二十八年に町村合併促進法が施行されてから、

併合促進法が施行されてから、

併合促進法が施行されてから、

併合促進法が施行されてから、

併合促進法が施行されてから、

併合促進法が施行されてから、



日立

日立

日立

日立

日立

日立

日立

残響装置+4スピーカー+ラウドネス・コントロール方式

STEREO

日本ステレオ

お求めは日立チーンストールへどうぞ

